



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月22日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6807 URL <http://www.jae.co.jp>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 秋山 保孝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	118,547	21.5	11,638	66.4	11,068	74.3	7,582	77.8
25年3月期第3四半期	97,542	16.6	6,995	47.3	6,350	47.7	4,264	75.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 10,630百万円(99.1%) 25年3月期第3四半期 5,338百万円(266.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	83.66	83.58
25年3月期第3四半期	47.08	47.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	146,029	78,726	53.9
25年3月期	121,670	68,104	55.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 78,680百万円 25年3月期 68,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 3円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	23.5	14,800	72.1	13,500	74.4	9,300	83.7	102.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	92,302,608株	25年3月期	92,302,608株
26年3月期3Q	1,608,708株	25年3月期	1,709,754株
26年3月期3Q	90,635,535株	25年3月期3Q	90,591,603株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において実施中であり
ます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると
判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想
の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3
「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 4
3. 四半期連結財務諸表	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、各国の金融緩和策拡大により、欧州の債務危機問題がそれまでの危機的状況から一旦落ち着き、米国経済においても住宅投資が堅調に推移するなど、先進国においては緩やかな回復基調で推移した一方、新興国経済は、ユーロ圏における景気停滞の長期化や米国債務上限引上げ問題による景気の下振れ懸念などから輸出減や設備投資が伸び悩み、景気は総じて足踏み状態となりました。わが国経済においても、株価の回復や円高の是正により民間需要に回復の兆しが見え始めたものの、世界経済の回復遅れの影響から、景気の回復は緩やかなものとなりました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、スマートフォンやタブレットPCなどの成長機器や自動車関連需要が引き続き堅調に推移しましたが、ノートPC、薄型テレビ関連の需要低迷や設備投資関連分野も新興国需要の回復が遅れるなど、市場全体としては総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業において、海外スマートフォンやタブレットPCなどの成長機器や自動車分野などの成長市場を中心に、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動の展開による受注・売上の拡大を図るとともに、生産拠点及び生産設備の増強投資を進める中で、内製化の取組み強化及び自動化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,185億47百万円（前年同期比122%）、利益面においては、営業利益116億38百万円（前年同期比166%）、経常利益110億68百万円（前年同期比174%）、四半期純利益75億82百万円（前年同期比178%）と増収・増益とすることができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加、売上増加による売上債権の増加及び国内外のコネクタ主力生産拠点における工場増設等による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ243億59百万円増加の1,460億29百万円となりました。

負債は、仕入債務及び借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ137億37百万円増加の673億2百万円となりました。

純資産は、主として四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ106億22百万円増加の787億26百万円となり、自己資本比率は53.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を増収・増益とすることができたことに加え、第4四半期連結会計期間の事業環境も現経済環境下において概ね堅調に推移するとの見通しから、下記の通り修正いたします。

なお、10月4日付で公表いたしました『防衛省に対する費用の過大計上に関するお知らせ』について、今後、契約条項に従って違約金等の支払の発生が予測されますが、現在、防衛省の調査に協力しているところであり、過大請求に係る金額が見積れず、支払時期も未定のため、下記予想値には見込んでおりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	155,000	12,500	11,500	8,000	88.27
今回修正予想 (B)	160,000	14,800	13,500	9,300	102.59
増減額 (B－A)	5,000	2,300	2,000	1,300	
増減率 (%)	3.2	18.4	17.4	16.3	
(ご参考) 前期連結実績 (平成25年3月期)	129,600	8,600	7,739	5,063	55.89

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社でありましたJAE Europe, Ltd. 及び JAE Singapore Pte Ltd. を連結の範囲に含めております。

なお、この連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

コネクタ事業における特定顧客の開発計画の変更が第2四半期連結会計期間において判明したことに伴い、保有する生産設備について経済的使用可能予測期間を調査した結果、専用度の高い機械装置の残存耐用年数と現在以降の経済的使用可能予測期間との乖離が明らかとなったため、当該機械装置について第2四半期連結会計期間より耐用年数を短縮しております。

この変更により、従来の方法に比較して当第3四半期連結累計期間において減価償却費が1,311百万円多く計上され、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,280百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,792	21,960
受取手形及び売掛金	24,730	35,732
たな卸資産	11,345	13,640
繰延税金資産	1,484	1,492
その他	3,724	4,243
貸倒引当金	△35	△72
流動資産合計	56,041	76,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,918	21,651
機械装置及び運搬具（純額）	23,266	22,265
工具、器具及び備品（純額）	5,469	5,558
土地	5,297	5,327
建設仮勘定	5,689	3,883
有形固定資産合計	56,640	58,686
無形固定資産	1,891	2,328
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,463	2,263
その他	4,768	5,891
貸倒引当金	△135	△136
投資その他の資産合計	7,096	8,018
固定資産合計	65,628	69,033
資産合計	121,670	146,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,437	29,370
短期借入金	8,972	8,383
未払法人税等	694	2,368
取締役賞与引当金	90	105
その他	9,357	8,596
流動負債合計	42,552	48,823
固定負債		
長期借入金	6,211	14,265
退職給付引当金	4,494	3,914
その他	307	299
固定負債合計	11,013	18,479
負債合計	53,565	67,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,439	14,450
利益剰余金	45,917	53,445
自己株式	△1,230	△1,161
株主資本合計	69,817	77,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	607	1,070
為替換算調整勘定	△2,401	184
その他の包括利益累計額合計	△1,793	1,255
新株予約権	80	46
純資産合計	68,104	78,726
負債純資産合計	121,670	146,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	97,542	118,547
売上原価	77,598	92,399
売上総利益	19,944	26,148
販売費及び一般管理費	12,948	14,509
営業利益	6,995	11,638
営業外収益		
受取利息	28	51
受取配当金	233	54
為替差益	—	385
その他	117	165
営業外収益合計	379	657
営業外費用		
支払利息	84	92
固定資産除却損	670	1,091
為替差損	218	—
その他	50	42
営業外費用合計	1,024	1,227
経常利益	6,350	11,068
税金等調整前四半期純利益	6,350	11,068
法人税、住民税及び事業税	2,113	3,428
法人税等調整額	△26	58
法人税等合計	2,086	3,486
少数株主損益調整前四半期純利益	4,264	7,582
四半期純利益	4,264	7,582

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,264	7,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	463
為替換算調整勘定	944	2,585
その他の包括利益合計	1,073	3,048
四半期包括利益	5,338	10,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,338	10,630
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	82,798	4,010	10,009	724	97,542	—	97,542
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	8,643	△62	1,370	△66	9,884	△2,889	6,995

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,889百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	103,467	3,271	9,941	1,867	118,547	—	118,547
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	14,135	△139	450	118	14,565	△2,927	11,638

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,927百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。